

3大ロマンティック. ピアノ協奏曲

@K.Mura

ショパン：
ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11

シューマン：
ピアノ協奏曲 イ短調 op.54

チャイコフスキー：
ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23

出演：實川 風(ピアノ・指揮)《指揮はショパンのみ》

渡邊一正(指揮)《シューマン&チャイコフスキー》

新日本フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)

6.3
2023 SAT

13:00開演(12:15開場・終演予定15:00)
東京文化会館 大ホール
S 7,000円/A 6,000円/B 5,000円/C 4,000円(税込)

チケット発売 | 2023年3月4日(土)

◇東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (10:00~18:00 休館日を除く)
<http://www.t-bunka.jp>

◇チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/romanticpiano/> (Pコード236-953)
セブンイレブンにて取り扱い

◇ローソンチケット <https://l-tike.com/romantic-piano/> (Lコード34366)
店頭販売 ローソン、ミニストップ店内Loppiにて取り扱い

◇イープラス <https://eplus.jp/romanticpiano/>
ファミリーマート店舗にて取り扱い

【お問い合わせ】 サンライズプロモーション東京 0570-00-3337(平日12:00~15:00)

實川 風
(ピアノ・指揮)

@T.Tairadate



渡邊一正(指揮)

@Etsuke Miyoshi

ピアニスト・實川風が
ロマン派の人気ピアノ協奏曲を3曲お届けします。
そしてショパンの協奏曲は、
實川の「弾き振り」でお楽しみ頂きます。
ご期待ください。

實川 風 Kaoru Jitsukawa (Piano)

多彩な音色を引き出しバロック作品から現代作品まで幅広くレパートリーとするピアニスト。
近年はバッハとベートーヴェンを中心としたプログラムでコンサートを続けている。また弦楽器奏者や声楽家との共演も多くソロ以外のアンサンブルでも存在感を現している。

2008年名古屋国際ピアノコンクール第1位・聴衆賞、2013年サザンハイランド国際ピアノコンクール第2位(キャンベラ・オーストラリア)、2015年ロン・ティボー国際コンクール(パリ・フランス)にて第3位・最優秀リサイタル賞・最優秀現代曲賞を受賞。2016年カラーリョ国際ピアノコンクールにて第1位・聴衆賞を受賞、イタリア各地でリサイタルを行う。

これまでに上海音楽祭、ソウル国際音楽祭、ノアン・ショパンナイト(フランス)・アルソノーレ(オーストリア)などの国際音楽祭に出演。

NHKFM「リサイタルノヴァ」、NHKEテレ「クラシック音楽館」、テレビ朝日「題名の無い音楽会」などメディアへの出演も多い。

東京藝術大学附属高校を経て東京藝術大学を首席で卒業し、同大学大学院(修士課程)修了。オーストリア国立グラーツ芸術大学ポストグラデュエート課程を修了。



渡邊一正
Kazumasa Watanabe
(Conductor)

1991年東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。2015年4月から東京フィルのレジデント・コンダクターおよび指揮者を2021年5月まで務める。また1995年～2002年には広島交響楽団正指揮者も歴任。これまでN響の定期演奏会を始め、日本国内の主要プロ・オーケストラへ定期的に客演しその音楽性と指揮に対する信任を得ている。オペラでは新国立劇場でマスカーニ歌劇「友人フリッツ」、バレエでも同劇場バレエ団「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」などを指揮し、2006年「白鳥の湖」新演出の指揮でも大成功を収めた。またサンクトペテルブルグ交響楽団の定期演奏会に客演するなど、海外でも活躍している。ピアニストとしても8歳の時に東京響、東京フィルと協演。87年～89年まで渡欧しハンス・ライグラフ教授に師事。その後、東京フィル定期、広島響定期などで弾き振りを含むプログラムを行なうなど、ピアニストとしての才能も高く評価されている。



新日本フィルハーモニー交響楽団 New Japan Philharmonic

1972年、指揮者・小澤征爾、山本直純のもと自主運営のオーケストラとして創立。97年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会のほか、地域に根ざした演奏活動も特徴的。99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任。受賞歴に三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ペンクラブ音楽賞など。佐渡裕が23年より第5代音楽監督として決定、それに先立ち、22年よりミュージック・アドバイザーに就任。創立50周年となる22/23シーズンは、様々な記念演奏会を開催、定期演奏会には縁の深い指揮者達が名を連ねる。